

波多野睦美 朝のコンサート 第10回記念特別公演

ARIE ANTICHE ITALIANE

イタリア歌曲集 ～コンサートと公開レッスン～

波多野睦美 メゾソプラノ

渡邊さとみ バロック・ヴァイオリン
宮崎蓉子 バロック・ヴァイオリン
朝吹園子 バロック・ヴィオラ
西山まりえ バロック・ハープ／チェンバロ
懸田貴嗣 バロック・チェロ

プログラム

泣かせてください(ヘンデル) Lascia ch'io pianga
優しき森よ(伝 カルダラ) Selve amiche
すみれ(A.スカルラッティ) Le violette
ガンジス川に昇る太陽は(A.スカルラッティ) Già il sole dal Gange
あのひとに(チェスティ) Intorno all'idol mio
勝利だ わが心よ! (カリッシミ) Vittoria mio core!
アマリッリ(G.カッチーニ) Amarilli 他

ISHIBASHI MEMORIAL HALL

2016年7月3日(日)
上野学園 石橋メモリアルホール(上野駅)

11:00 - 12:30 公開レッスン *どなたでも聴講できます
14:30 - 16:00 コンサート

*チケット = 4種類 ①コンサートのみ ②公開レッスン聴講のみ
③コンサート+公開レッスン聴講セット ④学生券(セット)

主催: オフィス・ソネット 共催: 上野学園 石橋メモリアルホール 制作・お問合せ: ダウランド アンド カンパニー

波多野睦美写真: Toshiyuki Kohno

古楽器の響きにのせて

解き放たれる

みずみずしいバロックの時



「イタリア歌曲集」がよみがえる!

19世紀の作曲家パリゾッティらの手でバロックの名曲がピアノ伴奏用に編曲され、「イタリア歌曲集」として多くの歌手に親しまれてきた。本公演ではこれらの歌を作曲当時の形に戻してオリジナルの楽譜を用い、通奏低音と弦楽アンサンブルのスタイルで演奏する。舞台上での演奏家たちのスリリングなセッション、今まさに描き出される物語がバロックの魅力、面白さ。古典とされてきた歌曲が新たな横顔を見せ、生き生きと輝き始める。



声楽家にとってよく歌われるレパートリーであるイタリア歌曲集を、19世紀的なピアノ伴奏譜ではなく、ハーブやチェンバロや弦楽器とともにやわらかく歌う。これはCDも出たが、とても落ち着いて穏やかに聴ける音楽。私が波多野さんの歌を聴くたびに特別だなと感じるのは、音楽にいつも無理がなく、苦労を表に出さないというか、客観性があるということだ。「わたし」が出過ぎないからこそ伝わるものがある。とても自然。彼女がステージに立っているときの存在感は、自由でしなやかに生きている人

独特のものであって、聴き手は、彼女の縛られていない生き方への共感を持ってしまふ。それが意図しないものであっても、結局聴き手は、作品を通して、波多野さんという人の精神的なたたずまいを見ているように思う。こうした優れた個性をもつ無二のタイプの歌手を前にしていると、声帯を震わせているのは歌手であっても、観客は一緒になって心を震わせているのだなとつくづく思う。やはり歌はバイブレーションなのだ。

(林田直樹/2015年10月王子ホール公演「イタリア歌曲集」評より)

コンサート出演者プロフィール

波多野 睦美(メゾソプラノ)

英国ロンドンのトリニティ音楽大学声楽専攻科修了。シェイクスピア時代のイギリスのリートソングでデビュー以来、国内外での多くのコンサート、音楽祭に出演し、演奏、プログラミングにおいて独自の存在感を放つ。ソリストとして、ヘンデルの「メサイア」やオラトリオ、バッハの「マタイ受難曲」などで、鈴木雅明、クリストファー・ホグウッド、寺神戸亮指揮ほか、多くのバロックオーケストラと共演。現代音楽の分野では間宮芳生作品のアメリカでの世界初演、水戸芸術館での「高橋悠治の肖像」、サントリーホールでの「作曲家の個展:権代敦彦」などに出演し、広い世代の作曲家から厚い信頼を得ている。放送ではNHKニューイヤーオペラコンサート、名曲アルバム、日本の叙情歌、題名のない音楽会等に出演。オペラではモンテヴェルディ「ポッペアの戴冠」のオッターヴィア、パーセル「ダイドーとエネアス」のダイドー、間宮芳生「ポポイ」などに出演。CD作品は「パーセル歌曲集/ソリチュード」など、古楽器との共演による多数の録音のほか、作曲家・ピアニストの高橋悠治との共演で「ゆめのよる」「猫の歌」「風ぐるま」など。最新作は、高校生の頃から親しんできた作品群にバロックの演奏家たちと自由な感覚で取り組んだ「イタリア歌曲集」(レコード芸術特選盤/朝日新聞推薦盤)。国際基督教大学非常勤講師。



渡邊 さとみ(バロック・ヴァイオリン)

桐朋学園大学、同大学研究科修了。卒業後バロック・ヴァイオリンを始め、若松夏美氏に師事。カタルーニャ州立音楽院にてM.クレマーに、パリ市立音楽院にてP.ビスムットに師事し、栄誉付全員一致の最高位にて卒業。アンブローネ・バロックアカデミーやモーツァルト・アカデミーにコンサートミストレスとして参加。現在フランスにて、レ・ザール・フロリサン、オルフェオ55(歌・指揮:ナタリー・シュトゥッツマン)、アンサンブル・ピグマリオン他、オーケストラやアンサンブルにて演奏活動を行う。



宮崎 蓉子(バロック・ヴァイオリン)

東京音楽大学卒業後、2004年渡英。ギルドホール音楽院にて理事長推薦特待生として研鑽を積む。ヴァイオリンを瀬戸揺子、景山誠治、バロック・ヴァイオリンを渡邊慶子、R.ボジャー、S.スタンデジの各氏に師事。バロック・トリオ・オウレリア、ロンドン・フェスティバル・オーケストラ、オーケストラ・エイジ・オブ・エンライトメント等でヨーロッパ各地で演奏。2014年、ソロCD「Ciaccona」リリース。



photo: Tokuyuki Matsubuchi

朝吹 園子(バロック・ヴィオラ)

東京藝術大学、同大学院修了。明治安田生命より奨学金を受ける。文化庁在外派遣研修員。ドイツのフライブルク音楽大学、スイスのパーゼル・スコラ・カントゥム卒業。第18回宝塚ベガ音楽コンクール、第9回コンセール・マロニエ21、「デンハーグピアノ五重奏団」として第16回ファン・ワセナール古楽コンクールにて、それぞれ第1位を受賞。パーゼル在住。



西山 まりえ(バロック・ハーブ/チェンバロ)

チェンバロとヒストリカル・ハーブ、2種の古楽器を自在に操る希有なプレーヤーとして世界的に知られ、数多くのコンサートや録音に参加。古楽アンサンブル「アントネッロ」メンバーとしても活躍。第11回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第1位および栃木[蔵の街]音楽祭受賞。「ハーブ女学園」「クラヴサン・クラブ」主宰、古楽ワークショップ「信州アーリー・ミュージック村」芸術監督。

photo: Naoya Yamaguchi

懸田 貴嗣(バロック・チェロ)

ミラノ市立音楽院にてチェロをG.ナジッロ氏に師事。伊ボンポルティ国際古楽コンクールで第1位受賞。ラ・ヴェネシアーナ、リクレアツィオン・ダルカディアなどのメンバーとして、日本、欧州各地の主要な音楽祭での演奏や録音活動を行っている。CD「ランゼッティ チェロ・ソナタ集」で文化庁芸術祭優秀賞を受賞。



2016年7月3日(日)

11:00~12:30 公開レッスン

14:30~16:00 コンサート

CD
「イタリア歌曲集」
好評発売中!
(ソネットレーベル)

上野学園 石橋メモリアルホール

台東区東上野4-24-12 TEL.03-3843-3043

[チケット] 全自由席 *1月27日(水)発売開始

一般①コンサートのみ=前売 4,000円

②レッスン聴講のみ=前売 2,500円

③コンサート+レッスン聴講=前売 5,500円

*当日券 それぞれ 500円 UP

学生④コンサート+レッスン聴講=1,500円

(25歳以下・学生証提示)

[公開レッスン] 講師:波多野睦美

テーマ「イタリアバロック歌曲とアリア」

受講生 3~4名 伴奏者同伴 チェンバロあり

受講希望の方は以下からお問合せください。

<http://hatanomutsumi.com> contact ページより

[チケット予約]

©ダウンロードアンドカンパニー <http://www.dowland.jp>

TEL.042-390-6430 dowland@air.linkclub.or.jp

*代金振込先

郵便振替 00160-8-142068 加入者名:パルドン

ゆうちょ銀行 019支店 当座0142068 口座名:パルドン

三菱東京UFJ銀行口座への振込希望の方はお問合せください

©イープラス <http://eplus.jp>

©東京文化会館チケットセンター

TEL.03-5685-0650 <http://www.t-bunka.jp>

[会場アクセス]

JR各線 上野駅「入谷口」徒歩8分

地下鉄 日比谷線・銀座線 上野駅「1番出口」徒歩8分

